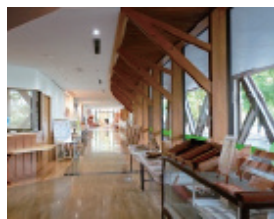


お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

ホーム > 報道・広報 > イベント情報 > 森林（もり）のギャラリー

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【治山課】

○令和7・8年度緊急応急工事要請対象者について、公表しました。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム 申請>お問い合わせ 公売>入札情報 入札情報 森林土木工事等に関する事項 > 令和7・8年度緊急応急工事要請対象者について

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/nyusatu/20250331_01.html



【箕面森林ふれあい推進センター】

○こだま通信 134号(2026年3月)を発行しました。

令詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム > 近畿中国森林管理局へようこそ > 森林管理局の概要 > 箕面森林ふれあい推進センター > 発行冊子 こだま通信

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html



こだま通信

Kodama Communication R8.3 No.134

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター



花草木

【コデマリ】

コデマリ(学名: *Spiraea cantoniensis*)は、原産地は中国(中南部)のバラ科シモツケ属の落葉低木です。

高さは1.5mほどになり、幹は重なり合い、枝は細く弓なりに垂れます。樹皮は灰褐色で皮目があります。

花の時期は春(4-5月)で直径1cmほどの白の小花が20個以上集まり、直径3~7cmの球状の花房を形成します。枝が垂れ下がるように咲く姿は美しく、庭木や切り花としても人気です。

この花序(植物の茎や枝における花のつき方や配列のこと)は小さな手毬のように見え、これが名前の由来となっています。遠目にはユキヤナギに似ていますが、花の付き方が違います。

葉は2から4センチほどで互い違いに生え、若い枝葉は赤味を帯びます。



大阪市内の寺院で咲いていたコデマリの花

日本では、よく庭木として植えられています。

コデマリの花言葉は「優雅」「上品」「友情」「努力」「清純」「無邪気」など、純粋で前向きな意味が中心です。

森林事務所等紹介

広島森林事務所（広島森林管理署）

森林官（前任者） 屋森 修一（やもり しゅういち）

広島森林事務所は、広島市中区に所在し、広島市東区、西区、南区、安佐南区、安佐北区、佐伯区、安芸郡府中町の瀬戸内海沿岸部にある国有林約 2,300ha と官行造林地約 370ha を管轄しており、その多くが、瀬戸内海国立公園、土砂流出防備保安林、保健保安林、都市緑地等の指定を受け、施業上の制限があるため各関係機関や公益的機能に配慮した管理経営に当たっています。



うしたやま
牛田山国有林より広島市内を望む

うしなやま
宇品山国有林においては、市街地からも近く、瀬戸内海の眺望景観が望め、希少な天然広葉樹林であることから、自然観察教育の場として多くの人に利用されています。

また、アース・ミュージアム元宇品構想推進委員会と国民参加の森林づくりについて協定を締結し、元宇品界隈の生態系維持のため、広島市・地域住民・自然観察ガイドの方々と連携を図り、国民と一体となって森づくりを実施してきています。

今後も地域住民の皆様に寄り添い、地域に貢献できる森づくりを目指して取り組んでいきたいと思ひます。



うしなやま
宇品山国有林（フェリーからの遠望）

シリーズ『国有林 最前線！』

海岸防災林を守り地域に親しまれる森林への取り組み

あとかばやし
～安宅林国有林～

石川森林管理署

石川森林管理署の所管する^{あとかばやし}安宅林国有林は、小松市に所在する国有林で日本海に面した飛砂で形成された砂地の上にあります。過去には海からの暴風により人家・田畑が埋没する被害が度々発生し、人々の生活を苦しめていました。このため、多くの人々が長い年月と熱意により、長さ約3km、幅200m～300mの約69haという広大な面積に雄大なクロマツ林を造りあげました。

近年では、松くい虫被害の拡大にともない、地元等からクロマツ林の防災林機能の維持と保護を求める要望があがってきたため、専門家の意見を聴きながら薬剤散布及び伐倒駆除を実施しており、令和7年度は、松くい虫被害木537本の特別伐倒処理、地上からの薬剤散布57ha及び樹幹注入755本を実施しました。

また、これまでのクロマツ林を守っていくのはもちろんのこと、クロマツ以外の樹種の計画的な転換を推進するため、次期森林計画では広葉樹の天然更新または人工更新を計画し、被害により空白地帯となった個所への森林を少しでも拡大できるよう、地域住民からの意見も集約しながら取組を進めていきます。なお、当国有林は、地域住民の方に親しまれており、散策路も整備されていることから、季節を問わず多くの方が入林されています。



上空から見た安宅林国有林



地上薬剤散布による防除



安宅小学校5年生と地域住民参加による松葉かき

さらに、安宅林国有林は、「ふれあいの森」を安宅住吉会、「遊々の森」を安宅小学校とそれぞれ協定締結による国民参加の森林づくりとしてフィールドの提供を行っており、地域へ開放した各種イベントも開催されています。

毎年、秋季に当署と安宅小学校5年生児童と地域住民の方々が参加して松葉かきを行っています。開催時には当署職員によるクロマツ林の海岸に果たす役割を伝える講座も設けており、海岸林の重要性を学んでいただいています。実施後の綺麗になった松林を見て、感動している様子で参加者からも好評を得ています。

石川森林管理署では、先人たちが苦勞して造りあげてきた安宅林国有林の防災林としての機能を守るため、今後とも松くい虫被害対策や海岸防災林の維持整備などの取組を地域とともに進めて行くとともに、地域住民から親しまれる森林づくりをこれからも行ってまいります。